



中学校給食の早期実施を

「京都府内で一番遅れている」と大問題になっている中学校給食。昨年、短期間で6076筆の署名が集まり、12月議会に「早期実施」を求める請願が提出されました。請願は不採択になりましたが、反対した議員の中からも「早期実現」を求める声が出ています。さらに声を広げ、中学校給食を実施させましょう。

スタジアムより大事なことがあります

① いのちが大事！

- 災害の早期復旧、予算の増額で災害に強いまちづくり、桂川及びその支川の^{しゅんせつ}浚渫など改修促進
- 土木事務所、保健所を亀岡に復活

② くらしが大事！

- 国民健康保険料の引き下げ、介護の負担軽減、老人医療費の負担引き下げ
- バス路線、乗り合いタクシーの充実
- 家族農業・小規模経営を応援
- 気軽に使える文化活動施設の整備、文化鑑賞ホールの建設

③ 未来を担う子どもたちが大事！

- 中学校給食の早期実現（府の財政支援）、医療費無料化の拡充、少人数学級の拡充、義務教育完全無償、高校生の就学費・通学費の補助、給付型奨学金の創設

なぜ?! 水に浸かると自ら公表する所にスタジアムを…

一方で、桂川の改修は進捗率26%(29年度末)と府内最低。水害に苦しんできた住民にとっては黙ってははいられません。問題だらけのスタジアムは再検討を求めます。



豪雨により水没したスタジアム建設地

パワー全開で

市民の願い実現へ

日本共産党 なむら活代

なむらさんは、子育て真っ最中だった市会議員の16年の間に、学童保育の充実、学校施設の整備、ゴミの分別、小規模災害への助成など多くの仕事にとりくみました。なかでも、医療費無料化の拡充は何回も議会でもとりあげ、このほど中学校卒業まで拡充の方向が示されました。今度は、中学校給食の早期実現、防災の強化へ全力をあげます。



災害現場を調査

原点は福祉
トコトン市民の願い実現

重症心身障がい児者施設職員として22年。亀岡市会議員16年の経験をいかし、女性の目線でみなさんのくらし・福祉・子育ての願いをまっすぐに府政に届け、トコトンがんばります。



日本共産党

党亀岡府政対策委員長

なむら活代

苗村かつよ

1955年広島県庄原市生まれ、花ノ木医療福祉センター職員として22年勤務。亀岡市会議員4期(1999～2015年)現在、党口丹地区副委員長。亀岡市消防団つつじ分団団員 ▶家族：夫と2男1女 ▶趣味：ランニング、落語鑑賞

亀岡民報

号外 2019年2月 日本共産党口丹地区委員会は、次の見解を発表しました。
発行：日本共産党口丹地区委員会 〒621-0013 京都府亀岡市大井町並河2-29-13 電話：0771-24-1001

消費税10%ストップ。9条改憲・原発再稼働NO! 市民と野党の共同で 安倍政治とキツパリ対決